

中学校における具体目標及び指導計画(例)

	1年	2年	3年
① 心身の発育・発達への理解と健康管理できる力	心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について科学的に理解するとともに、発達途上にある自己の性を認識し、自他を大切にしようとする心情や態度を育てる。		
	◎心身の発達と心の健康【保健体育】 ◎大人へのステップ【学活】	◎人間の体のしくみ【理科】 ◎健康と環境【保健体育】	◎生物の細胞と生殖【理科】 ◎健康な生活と病気の予防 性感染症の予防/エイズ【保健体育】
	特別支援学校・特別支援学級 ◎思春期の心と体 ◎ 体の変化の受容 ◎病気の予防		
② 生命尊重と望ましい人間関係を築く力	男女の心身の特質を基に男女が正しい人間関係を築いていくため、より適切な意思決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。		
	◎生命の尊重【道徳】 ◎ 生命の誕生 【学活】	◎生命の尊重【道徳】 ◎異性とのかかわり【学活】 ◎「デートDV」について考えよう【学活】	◎生命の尊重【道徳】 ◎適切な言葉遣いを学ぼう【学活】
	特別支援学校・特別支援学級 ◎大切な命 ◎上手な気持ちの伝え方 ◎男女交際 ◎異性への思いやり ◎異性との接し方		
③ 家庭や社会の一員としての責任と実践する力	男女の生き方は多様であることを理解し、家族や社会における期待される役割や自己の将来の生き方について考えるとともに、家族や社会の一員として適切な判断や意志決定、行動選択ができる能力や態度を育てる。		
	◎家族愛【道徳】 ◎性情報への対処【学活】	◎情報モラル【技術家庭】 ◎家族・家庭と子供の成長【技術家庭】 ◎性の被害者・加害者にならないために【学活】	◎人権と共生社会【社会】 ◎自分の成長と家族【技術家庭】 ◎ 今そして未来の自分 【学活】
	特別支援学校・特別支援学級 ◎性の被害者・加害者にならないために ◎ストレスへの対処 ◎場に応じた正しい判断 ◎性情報への対処の仕方 ◎社会の一員として ◎社会のルール ◎他者への思いやり		

*平成24年2月発行「島根県 性に関する指導の手引」(島根県教育委員会)掲載のものを一部変更

*指導案を掲載したものは太字

《特別支援学校・学級で実施する場合の配慮事項》 ※枠内の内容例は主に知的障がいの生徒を想定したもの

○生徒や学級の実態に応じて指導時期や内容を考慮して指導する。

○障がいの特性から、各教科・領域の学習だけでなく、生活に関連づけて実施するなどの工夫が必要である。